

木葉小便り

令和6年1月11日(木)発行
文責 校長 吉野 新吾

初日の出を望む(PTA 元日登山)

玉東町の未来を創る

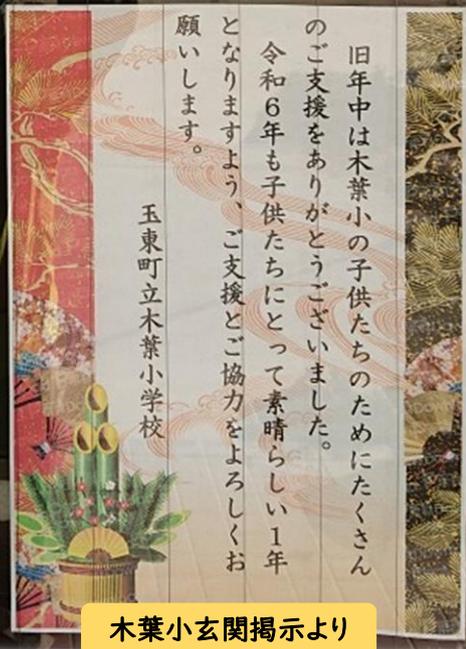


明けましておめでとうございます。

PTA 主催の「元日木葉山登山」では、子供、保護者91名の参加のもと、初日の出を拝むことができました。すばらし新年の光景でした。

『いい学校がいい地域を作り、いい地域がいい学校を作る』をモットーに、令和6年も玉東町立木葉小学校は、温かい地域に支えられた学校づくり、そして未来に向けた人づくりに努力して参ります。

令和6年もどうぞよろしくお願いいたします。



木葉小玄関掲示より



かたつむり 「蝸牛 そろそろのぼれ 富士の山」 小林 一茶

蝸牛が1時間で50cm進むとすると、1日10時間登ったとして、山頂まで756日かかることとなります。目標をもち、日々の小さな努力を積み重ねていきたいものです。

年頭に際し、校長として子供たちや職員の1人1人のペースを大切にしていきたいと心を新たにしました。せっかちに先を急ぎすぎるような日々を改め、これまで見落としてきたものを拾い上げながらゆっくりと進んでいくことを決意しました。



木葉山山頂より(令和6年1月1日)

木葉小学校 テレビニュースに

話題の大谷グローブが木葉小学校にも12月25日に届きました。冬休み明けの9日(火)児童へのお披露目を行いました。県内のトップということでテレビ熊本(TKU)の取材が入り、夕方のニュースで放映されました。グローブをご覧になりたい方は、学校でお待ちしています。

